

7 地方分権について

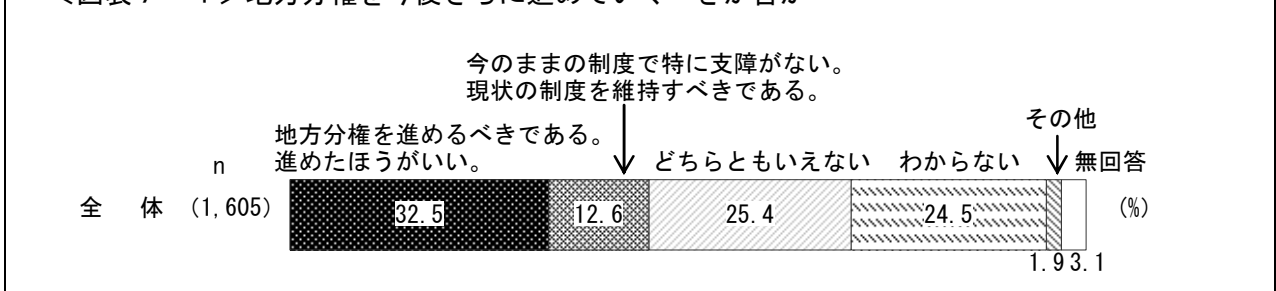
(1) 地方分権を今後さらに進めていくべきか否か

◇「地方分権を進めるべきである、進めたほうがいい」は3割を超える

問 33 「地方分権」とは、自分の住む地域のことは、その地域の住民が自ら決められるようにするため、国から、身近な県や市町村に権限や財源を移していこうとするものです。こうした「地方分権」について、今後さらに進めていくべきと思いますか。

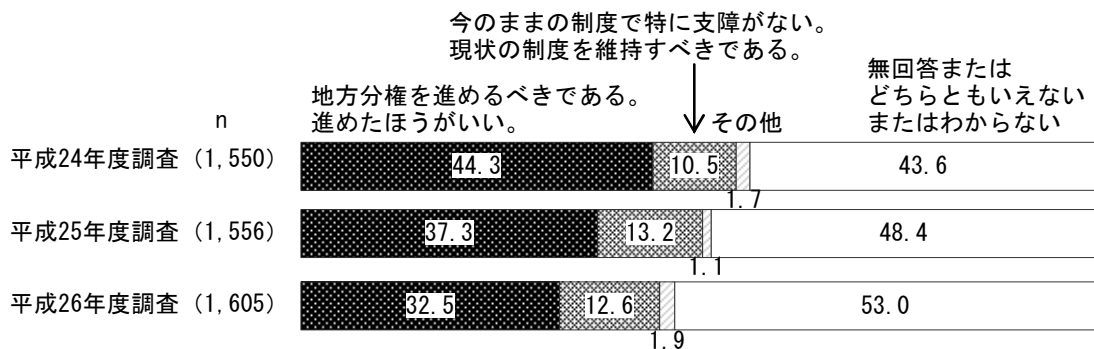
(○は1つ)

<図表 7-1> 地方分権を今後さらに進めていくべきか否か



地方分権を今後さらに進めていくべきかどうかを聞いたところ、「地方分権を進めるべきである、進めたほうがいい」(32.5%)は3割を超え、「今のままの制度で支障がない。現状の制度を維持すべきである」(12.6%)は1割を超えている。「どちらともいえない」(25.4%)、「わからない」(24.5%)は2割台半ばとなっている。(図表 7-1)

〔参考〕平成 24 年度・平成 25 年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位：%)



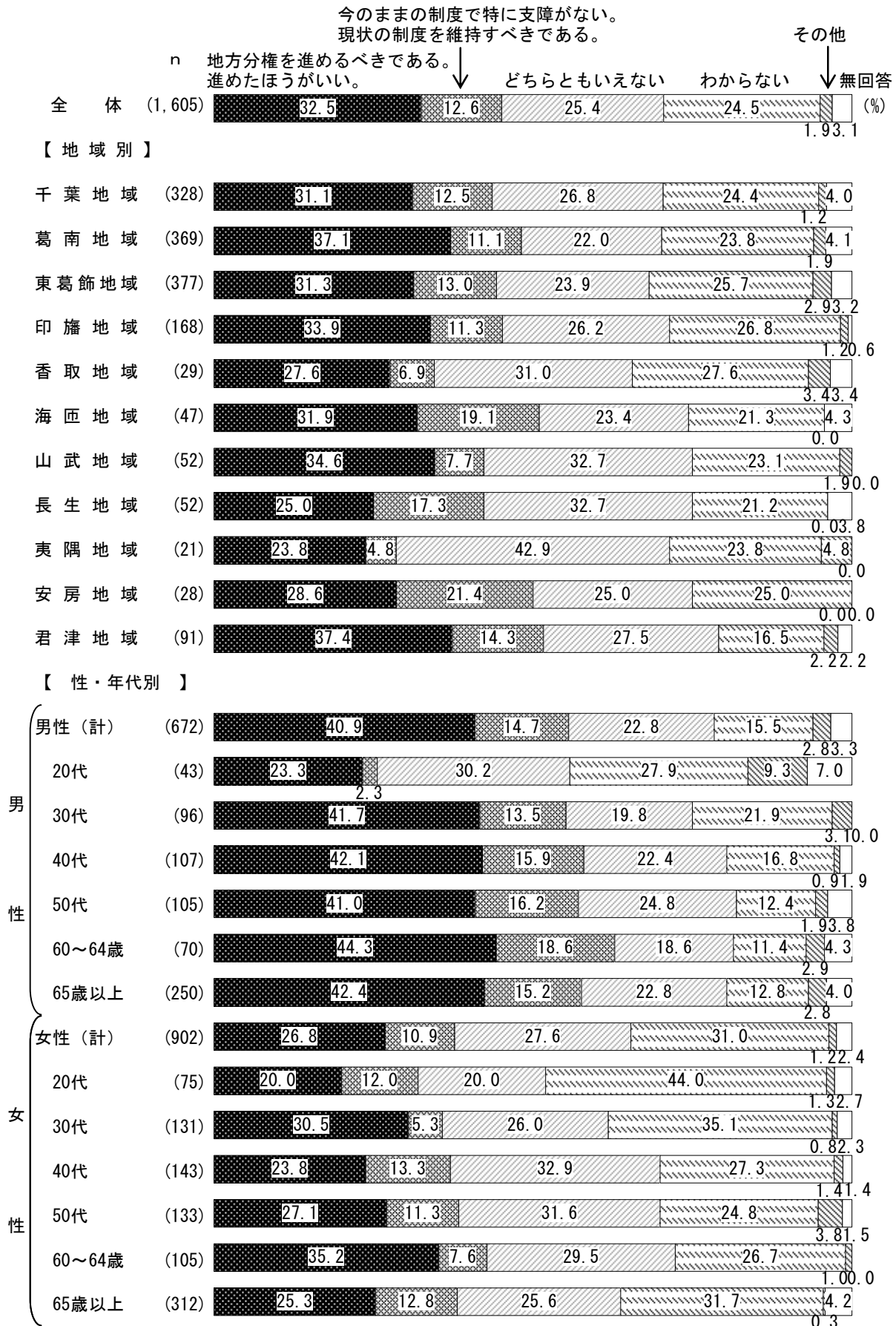
【地域別】

地域別にみると、「地方分権を進めるべきである、進めたほうがいい」は「君津地域」(37.4%)、「葛南地域」(37.1%)が約4割と他の地域に比べて高くなっている。(図表 7-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「地方分権を進めるべきである、進めたほうがいい」は男性の60～64歳(44.3%)が4割台半ば、男性の65歳以上(42.4%)、40代(42.1%)、30代(41.7%)が4割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表 7-2)

<図表7-2> 地方分権を今後さらに進めていくべきか否か／地域別、性・年代別

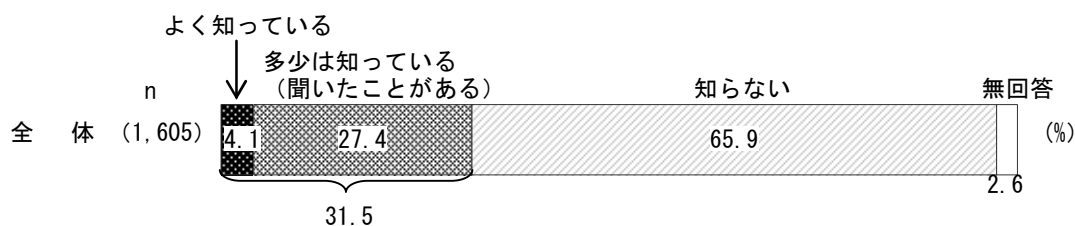


(2) 「地方分権」による基準変更の認知度

◇『知っている』は3割を超える

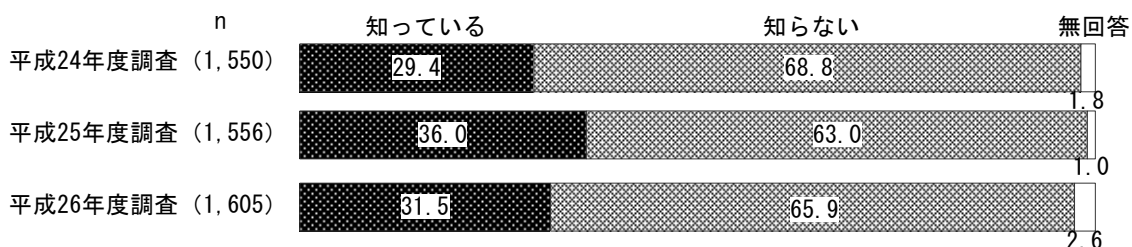
問34 地方分権を推進する一連の法律により、国が定めていた保育所や老人ホームの施設の基準などを都道府県の条例で定められるようになったことを知っていますか。(○は1つ)

<図表7-3> 「地方分権」による基準変更の認知度



国が定めていた保育所や老人ホームの施設の基準などを都道府県の条例で定められるようになったことを知ってるかを聞いたところ、「よく知っている」(4.1%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(27.4%)を合わせた『知っている』(31.5%)は3割を超える。一方、「知らない」(65.9%)は6割台半ばとなっている。(図表7-3)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“夷隅地域”と“安房地域”(同率42.9%)が4割を超えて他の地域に比べて高くなっている。(図表7-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は男性の65歳以上(40.8%)が4割、女性の65歳以上(39.1%)、男性の50代(39.0%)、男性の60~64歳(38.5%)、女性の60~64歳(37.1%)が約4割と他の年代に比べて高くなっている。(図表7-4)

<図表7-4> 「地方分権」による基準変更の認知度／地域別、性・年代別

